

沖縄こどもの未来県民会議 10年の歩み



沖縄こどもの未来
県民会議

「こどもの貧困と県民会議の誕生」

「こどもの約3人に1人が貧困の状況にある」

「子どもの貧困率29・9% 全国の1・8倍」という2015年度に県が実施した「子どもの貧困実態調査」の結果は、県内に大きな衝撃を与えました。

この深刻な現状を踏まえ、行政のみならず企業や県民が一体となってこどもの貧困対策に取り組むため、2016年6月17日に「沖縄子ども未来県民会議（現：沖縄こどもの未来県民会議）」が設立されました。県民会議では社会の一番の宝であるこどもたちの将来が、生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望を持って成長できる社会の実現を目指し、多様な取組を展開してきました。

それから10年。2026年、県民会議は節目の年を迎えました。こ

もたちを支え続けた県民会議の10年の歩みや成果をご紹介します。

10年間の歩みと成果

① こども未来応援助成事業（2020年度）

概要 こどもの貧困解消に向けた県民運動を推進するため、困窮家庭の支援に取り組む企業やNPO法人の活動を助成。

実績 2020年度から2025年度までに延べ44団体、計6,575万円の助成。

こどもの自己肯定感の向上や生活の安定、キャリア教育など多岐にわたる草の根支援を展開。

効果 困窮世帯や孤立世帯への食糧支援事業や若年妊産婦の運転免許取得支援事業など、助成を受けた団体が事業に取り組む基盤となった。

② 食支援連携体制構築事業（2020年10月）

概要 日本郵便の配送網を活用し、企業などから提供を受けた食品を県内の「こどもの居場所」や「こども食堂」に届ける。

実績 2020年10月から2025年度までに約350団体へ配布。（配布回数延べ14,603回）

効果 インフラを活用した効果的な配送網で食支援を展開。物価高騰下における臨時支援も実施。こどもの居場所の安定的な運営を支える役目を果たした。

③ こどもに寄り添う給付型奨学金（2016年度）

概要 児童養護施設を退所し、または里親の元を離



ご協力をお願い
— 支援の輪を広げるために —

れ大学や専門学校への進学を目指すこどもたちを対象に、返済不要の奨学金を支給。

実績 2016年度から2025年度までに累計175名を支援。

効果 社会的養護下のこどもの進学率（大学および専門学校）が大幅に改善。

2016年度：38・7%
2024年度：58・8%
全国平均の42・5%（2022年度）と比べても高い水準となっている。

概要 大学や専門学校への進学を希望する低所得世帯の高校生を対象に、受験や進学に必要な渡航費用（交通費、宿泊費）を支援。

実績 2022年度から2025年度までに累計797名を支援。

2025年度より県内離島から沖縄本島への渡航も支援対象に拡大。

効果 県内高校生の進学率（大学および専門学校）が向上。

2022年度：44・6%
2025年度：48・8%
経済的な理由でこどもが受験や進学を諦めずに挑戦できる環境づくりに貢献した。



続く課題と今後の展望

2025年度に実施された「沖縄こども調査」によると、困窮層の割合は21・4%で、2016年の29・3%と比べて7・9ポイント減と改善基調にあることがうかがえます。しかしながら、依然として2割以上の世帯が困窮世帯という高い水準にあり、本県のこどもの貧困の解消に向けては、引き続き支援が必要な状況となっています。県民会議としても、支援を必要とするこどもやその世帯のニーズを的確に把握しながら、さらなる支援の拡充を図ってまいります。

上記で紹介した事業をはじめとした「沖縄こどもの未来県民会議」の活動は、個人・企業の皆さまからの「寄付、寄付型自動販売機の売上、イベント・職場での募金やご遺贈」によって支えられています。こどもたちの未来を守る支援をこれからも安定的に継続するためには、皆さまの力が欠かせません。ぜひ活動趣旨にご賛同いただき、こどもたちの笑顔のために温かいお気持ちを寄せてください。

これからもこどもたちが輝かしい未来に向けて挑戦できる環境をつくるため、今後とも事務局一丸となつて尽力してまいります。皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

大学等進学サポート事業

感謝の声

県外進学の際の経済的負担で親に迷惑をかけてしまうのではないかと不安が何度も頭をよぎってました。この事業のおかげで安心して勉強に集中でき、志望校に合格できました。本当にありがとうございました。（生徒）

この事業のおかげで、県外大学を進学を選択肢に追加できました。県内にいたままでは歩めなかった進路、しっかり目標を見失わず頑張っています！（生徒）

離島のこどもや親に希望と挑戦する機会を与えてくださり、ありがとうございます。ひとり親だからと諦めなくていい、下のこどもたちを我慢させなくていい。あたたかいお心遣いに本当に感謝しています。（保護者）

さまざまな事情で進学を諦める家庭があります。我が家もこの事業がなければ、県外の大学進学なんて考えられなかったと思います。頑張って公立大学に進学した今、社会に貢献できる人になれるよう親子ともども頑張ります。本当にありがとうございました。（保護者）



公式ホームページ



寄付・サポーター
募集中

問い合わせ こども家庭課 電話：098-866-2174

